



ごあいさつ

オ-ラ

ごあいさつ

諸般の事情によりまして、2005年秋第48号を最後にカナダのライフスタイル誌、季刊「オーロラ」を終刊させていただきます。

読者、執筆者、スポンサーはじめ、製作にご協力、ご支援下さいました皆々様に厚く御礼申し上げます。

多くの方々のご好意に支えられて小さな雑誌を13年も続けることが出来たことを感謝しています。辛かったこと、楽しかったこと、怒ったこと、笑ったこと、13年の時間は短くもあり長くもありました。書いていただきたいこと、取材したいことがまだたくさん残っていますが、残念ですが撤退します。本当に有難うございました。

2006年4月

平塚かずよ

(お預かりしている購読料の残りを同封させていただきます)

★オーロラに執筆・取材・編集に協力してくださった方々（発行順）

松宮未永子 山本博 日塔富夫 野尻佳子 松本常雄 船坂真一 大谷尚 長井東美 片岡正記 加藤政人 エリザベス山下
 松本恩 南部信也 田阪裕人 伍台秀雄 リンダ・ハットン ジャック・ハットン 橋田忠明 スティーブン・ハイトン 高田たかし
 サム三次 沼波美木 福山茂 杉山園子 岡本明 加藤恒雄 南雲敏夫 石井一朗 井上律子 クラウスH・プリングスハイム
 服部公一 松宮俊彦 新照子 飛鳥童 ミッキー川崎 榎田佳一 五味浩孝 城倉貞子 ジョイ・ユガワ 尼子三矢子
 黒田征太郎 キングスレー・ワード 森研三 馬場直美 藤井勇 坂巻奈美子 江口静子 ジーン・パーカー 穂積由利子
 相馬貫一郎 岡田毅 田中順三 西野入潤子 穂積信道 宮坂敬造 アンディ九十九 北村理恵 鈴木勝康 ヴィック小倉
 橋爪美穂 森山真弓 津島直恵 上野周三 サンダース宮松敬子 三浦信義 半田瑞江 松井薫 杉山泰 アーサー原
 ケネス・リチャード 平野亨 竹田忠 ジャラル・メルヒ 浮橋康彦 香川武 筒井隆司 井口直也 清水哲生 後藤文彦
 青木千紗 リー・ミチ 三井初代 渕上幸恵 大田雄三 上崎正則 水谷雅和 半田宏治 小出まみ 端崎市郎 佐藤哲二
 田中和夫 小針弘明 高中公男 田村滋男 近江政雄 上甲カネコ 井上周 菊池幸工 佐々木成喜 三浦正愛 三枝知子
 服部武 安藤治樹 青柳俊明 掛川彰信 田中裕介 中村行子 長石多美子 西沢起代 穂積理彰 宮松芳子
 ジェームス・クアント 山田和男 ゲエン・ノーマン 勝田毅 市瀬正則 島川大輔 ハワード園枝 戸田淳 マイク佐藤 山本仁
 松原直子 亀井陽夫 フランク・ホフ ビル・ポイル 本田修 佐藤和代 梶原由佳 松本一彦・松本レモン 西川めぐみ
 シエマーゆみ 上野千鶴子 倉石文彰 津島晃 山中弘之 後藤順子 鶴田欣也 カール・ユ克蘭 鈴木道子 鈴木量作
 村越直子 浅井智子 片山睦美 小尾節子 黒川祐次 森貞一弘 林博三・林晴子 石川義朗 中村路子 堀田郁雄
 大久保久夫 酒井洋人 田村未夫 小尾将彦 原道子 鈴木雄一朗 宮崎正巳 刈谷和子 松本倭文字 小室郁子 唐木寛
 杉本陽子 井石美紀 宮本健太郎 長石紗永子 鈴木彰子 松島移 高島水美 田阪舞 テッド・グーセン 月華麗
 エダルマリア・ファレット・ポスト 山中康光 三枝与一 横道文司 真矢ときこ 川上寿美子 モリー・ギレン 水口宗成
 岡本佐和子 惣福正光 渕上信行 高橋由香 大内富子 滝本しず子 馬場まり子 松本としみ 宇山史剛 篠原敬 宮崎裕
 ・宮崎貴弘 村岡美枝 クリス&マリー・フランス・ソラ 早野宏・早野千恵子 ケリー・サカモト 五島宏治 田島高志 中谷義雄
 ・中谷ココ 前川威男・前川輝子 マリア・スルネク 大江一明 足立誠之 高柳雄一 香西宏昭 アレッハンドロ・バルトロ

シーラ・コップス 田上富美 小野冬生 香芝涼子 山本裕紀・山本藍 岩崎美穂 奥村勝・奥村仙 柳本満佐子 西田トラ
瀬戸山久子 アンズリー・バトラー シファニー・バクルー ダイアン・デュービー ジュディ・ムーア 井津建郎 植田絵美 坂口薫
フィスカリーニ節子 黒沼のり子 山縣洋三 原聡 モハン・パテル 塚本観登 山本紀子 辻俊雄・辻富美子 黒田泰蔵
牧野憲治 古沢さよ子 小野恵子 リリフェルト・まり子 羽尾清司 イング豊子 木村暁 鎌田卓郎 柴田由紀夫 宮下真尚
杉江美子 秋山太郎 阿部雅男 中村登志子 木村重雄 ギャロウエイ容子 富山知子 中村信太郎 播綾子 山下美智子
鈴木啓介 森田智志 片山博 吉村金一郎 小野正治 小倉一毅 内田勝久 コタツネコ マサイノクチ 杉本花粉
佐々木晴子 松本亮 前田守 村井優人 楠本祐一 コズロブスキー阿部美智子 姫田和美 エリザベス・ミラー 小松長生
鈴木ユウ 辻本明子 秋坂真史 多田早苗 上田晋 佐々木章紀子 瀬良そめ ルイーズ&ナンシー・パーモント 松原信雄
佐藤章 鈴木亮太郎 福田一彦 近藤空蔵 高橋俊樹 くちなし 小沼透 坂元尚文 坂卷淳一郎 小林章男 鈴木孝子
杉本喜美子 小沢寿美子 村岡恵理 肥塚隆 竹内禮子 西川昭二 仲田敏彦・仲田正徳 中川準子 大橋弘明 中山あつ子
ロバートA・アルマー 後藤莊一 塩口哲郎 ウォーレン真紀子 西川浩平 飯塚哲弥 辻峻 浜田敏秋 志摩夕美 森貞武蔵
大久保雅子 高橋直之 リンダ・カプラン 上野一臣 日高博之 土肥孝児 海谷明広 ジェリー・ミック・ゴールドリック
大野隆史 千葉豊 竹川大祐 松尾俊宏 井上郷 宮崎圭二郎 上三雄 石井国夫 河村晴久 田中靖規 渡辺広章
土谷ひとみ 安田公大 影山俊樹 ヘザー・バンクス アンディ魚堀 土屋能男 長井ベイリー ラッキー山本 松宮小次郎
後藤桃子

☆スポンサー(発行順)

日本航空 近畿インターナショナル サンダウンマーケット 住友生命 JTBインターナショナル オーシャンフード
日新運輸 日新トラベル ヤマハ・カナダ・ミュージック 平成マート 日産自動車 ノエビア ポーラ化粧品 ホンダ マツダ
OKギフト OCS海外新聞普及株式会社 レストラン祭 ジエームス・モト・エンタープライズ リン・クラフト 東京ツアーズ
ショーフレックス・インターナショナル レストラン柔 東京海上火災保険 H&K 鈴や プルマーシュ 資生堂カナダ キヤノン
スバル フジ・フォトフィルム ドンパレーノース・トヨタ モントリオール桂 セガ サンヨー 小沢カナダ ハワイアンクリニック
ゴルフドーム JVC ユニテクトレーディング M&S トレーディング・カナダ ノリタケ 中原かね子 宮原一雄 ケイ柴田

トータル・エキスプレス T E A C レストラン山勢 レストランまり子 エリンパーク・レクサストヨタ 白藤聖子歯科医院
ジャルパック 東芝 プリンスホテル桂 国際交流基金トロント文化センター・ライブラリー 菊池総合保険 トロント国語教室
J C オートセールス&オートサービス リンダ・ランズトウロム・コレクション ケン武藤 シャープ ゴトー・コンピュータ
デロイト&トウシュ会計事務所 中央監査法人クーパー&プライアント セントアン・カントリーイン&スパ ベストツナ・シーフード
ソニー ワールドカナダファー 日加学園 パナソニック トヨタ サロン・ハナ ニコン ジョインルピエル・クリステンセン
太郎フィッシュ レストランみかど 日本通運 全日空 ベントーヌーボー ダイニングラウンジまさ 富士通 岩瀬書店
セントアン・エルクファーム プリヂストン・ファイヤーストーン コーストホテル・チエーン サラ・フレージャー ロイヤル・レページ
アーンストヤング・監査法人センチュリー太田昭和 デビッド・ラム弁護士事務所 パイオテ

オーロラ

1992年秋〜2006年春

クロネコから始まったオーロラ

①クロネコがマークの会社に行つて
「私(元々猫好き)、黒猫が好きなら
んデス」

「じゃあ、毎月広告を出してあげ
よう(親切的な広告主)というわけ
で、ビジネスニューズレターに広告

をいただきました。

そして、ある時、その会社の広告
担当の人とたまたまその会社に勤
めていた友人の三人で会食、帰途
の車の中で、雑誌作りの話が出ま
した。

「平塚さん、やるかい？」と友人、
「ハイ」というわけで、深く考えな
いで始まったオーロラ・・・

でも、本当の始まりはJALのト





ロントー成田直行便就航の熱気
と活気にあふれた記念パーティー
会場からなのですが、その話は長
くなるので、又の機会に！
「あの頃は華だったわね」
「ニッポン・インクの絶頂期！（バブ
ル）」

②当時カナダタイムスにいた日本
画家の山本博さん、イラストレー
ターの日塔富夫さんとアンディ魚
堀さん、元グラフィックデザイナー
の野尻佳子さんの美術陣、元
婦人画報の松宮未永子さんに雑
誌の作り方を教えていただいたス
タート。

③いつ出るの？まだ出ないの？
九月初めから言われ続けて、創刊
号がやっと出たのが十一月半ば。
「恥ずかしいヨ。早く作っておく
れ、スポンサーに顔出しできない

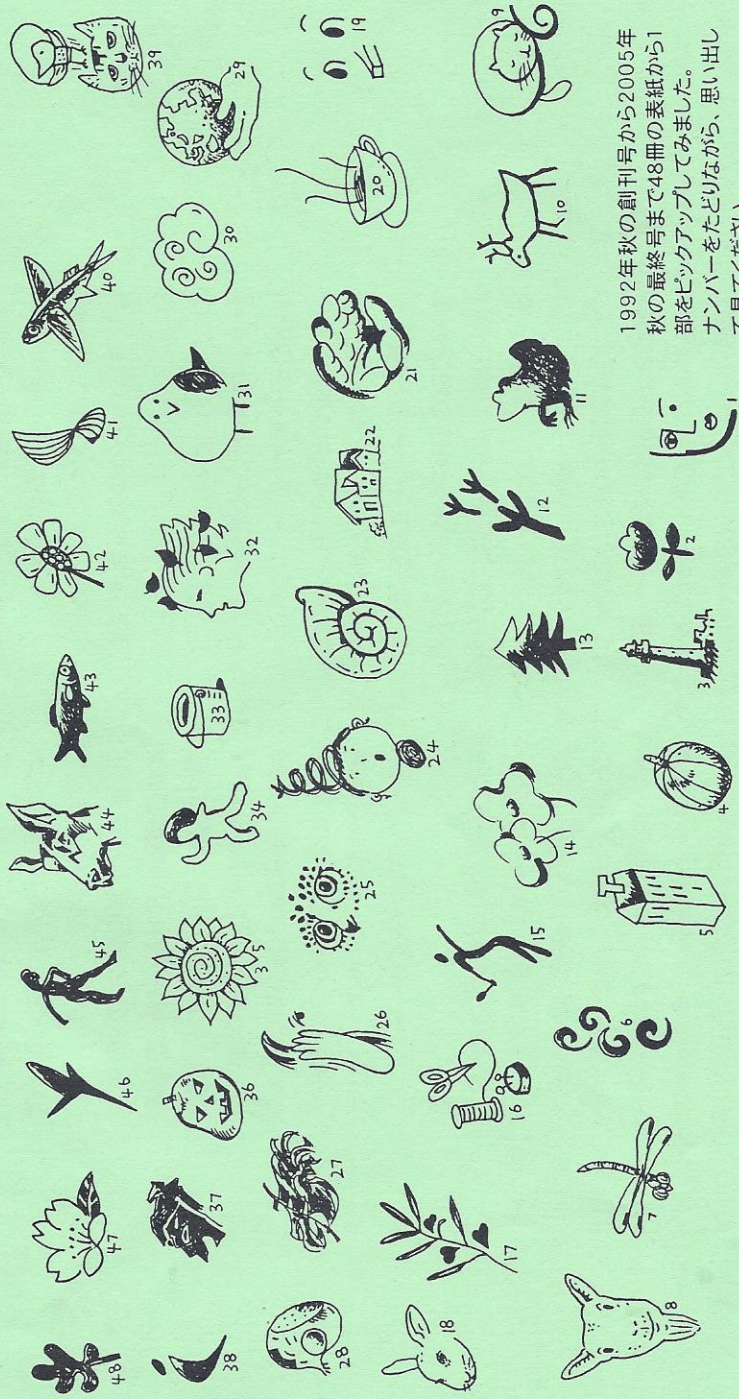
よ！」とビジネスパートナー。

④そして・・・足掛け十四年の長い
月日、実に実は大勢の方々が協力
して下さいました。
印刷所もずっと同じところでは
した。印刷所のオーナーは三回変わ
ったけれど。

⑤三十号のとき、題字デザインを
山本さんの手書きから西田トラ
さんのコンピュータ・デザインに変
えてちよつとイメージチェンジ。

①四十八号の最終号の最後のペ
ージ、バックカバーの広告が入ら
ない。A社もだめ、B社もだめ、
頼みの綱のC社からもノーのサイ
ン。半泣きのところへペリカンのホ
ワイトナイトが現れ、やっと発行
できました。クロネコで始まり、ペ
リカンで終わったオーロラ。





1992年秋の創刊号から2005年秋の最終号まで48冊の表紙から1部をピックアップしてみました。ナンバーをたどりながら、思い出して見てください。